

検査ニュース

No.156

ご挨拶

平素より、佐賀県医師会成人病予防センター業務には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
今回は「新規検査項目」についてご案内します。

佐賀県医師会成人病予防センター
担当理事 志田 正典

●新規検査項目

◆ミコフェノール酸〔免疫抑制剤血中濃度測定〕

ミコフェノール酸は、免疫抑制剤ミコフェノール酸モフェチルが生体内で加水分解されることによって生じる活性代謝物です。ミコフェノール酸は、de novo 系の DNA 合成経路を選択的に阻害することでリンパ球の増殖を抑え、臓器（腎臓、心臓、膵臓、肺、肝臓）移植後の拒絶反応を抑制します。その後、グルクロン酸抱合体として主に尿中に排泄されますが、個人差があり、また他の薬剤併用の影響を受け血中濃度が低下する場合があります。ミコフェノール酸の測定は、移植後の急性拒絶反応を予防するための濃度管理として有用です。投与量を調整する際の基準としてご利用ください。

検査項目	検体量	容器	所要日数	実施料 判断料	検査方法	基準値及 び単位	採血時刻	備考 (製品名・薬剤名等)
ミコフェノール酸	血漿 0.5mL	EDTA-2Na	2～5	◎特	EIA	(μ g/mL)		セルセプト

◎：特定薬剤治療管理料

◆肺癌 ALK タンパク (高感度 IHC)

(平成 26 年 9 月 1 日から保険適用)

非小細胞肺癌患者への ALK 阻害剤（アレクチニブ）投与方針決定の補助検査です。

非小細胞肺癌患者の 2～5%に ALK (Anaplastic Lymphoid Kinase) 融合遺伝子が発現すると報告されており、この融合遺伝子を有する細胞は恒常的に ALK のキナーゼ活性が上昇し、細胞が腫瘍化していると考えられています。ALK 阻害剤のひとつであるアレクチニブは、このキナーゼ活性を選択的に阻害することにより、腫瘍細胞の増殖を阻害しアポトーシスを誘導することで、抗腫瘍効果を発揮します。本検査は、肺癌組織中の ALK 融合タンパクの発現有無を検出します。肺癌 ALK 遺伝子 (FISH 法) と組み合わせることにより ALK 融合遺伝子陽性の非小細胞肺癌患者におけるアレクチニブの投与適応判断補助にご使用ください。

検査項目	検査材料	所要日数	実施料 判断料	検査方法	基準値及 び単位	備考
肺癌ALKタンパク (高感度IHC)	未染標本スライド4枚	4～6	2700 ※7	免疫組織 化学染色法		

※7：病理判断料

お知らせ

佐賀県診療録地域連携システム（ピカピカリンク）公開施設として加入いたしました。
今回は、健診結果報告書（PDF）のみの連携となっております。ピカピカリンクをご利用の医療機関は、所定の書式にて申し込みを受け付けております。

